

2002年から2019年末までに、グローバルファンドが支援した保健プログラムによって**3800万人の命が救われました**。エイズ、結核、マラリアによる年間死亡者数は、流行のピーク時に比べ、50%近く減少しています。

## 3800万人の命が救われました

この成果は、プログラム実施国の政府、国際機関、二国間援助政府、市民社会団体、三疾患の影響を受けた人々、および民間セクターとの協働によるものです。2019年にグローバルファンドが支援する国々で大きな成果が達成されましたが、2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響で、これまでの進展を妨げる恐れがあります。これは絶対に避けなければなりません。

モンバサ・ターネ・ドゥムールは南アフリカのケープタウンにおいて第一線で働く医療従事者。彼女はHIV陽性者であり、結核、新型コロナウイルスも患いましたが克服し、現在は、これらの感染症と闘う人々の支援に、自分の人生を捧げています。



Schermbrucker/Global Fund

### 三大感染症対策の現状



#### HIV/エイズ

グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的なエイズ対策支援の21%の資金を供与しています。我々は、検査と治療へのアクセスの拡大において、目覚ましい進歩を遂げました。グローバルファンドが投資する9か国は、国連共同エイズ計画 (UNAIDS) の「90-90-90」目標を達成しました。この目標は、HIV陽性者の90%が検査で自らの感染を知り、HIV感染を知っている人のうち90%が抗レトロウイルス治療を受け、治療を受けている人の90%が体内HIVウイルス量を検出不能レベルに達する(ウイルスの活動が抑えられている)ことを目指しています。2002年以降、エイズ関連の死亡は61%減少しました。しかし、HIV新規感染者数の低下は十分ではありません。キーポピュレーション(訳注:対策を届けるべき鍵となる人々)および、HIV感染が極めて高い思春期女子や若い女性の感染率を下げるため、さらなる対策が必要です。



#### 結核

グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的な結核対策支援の73%の資金を供与しています。我々はパートナーと協働で、診断や治療を受けず、報告もされないために、感染を拡大し続け、または死亡してしまう「見逃された」結核患者を見つける努力をしていますが、それに大きな進歩が見られました。特に、結核の高負担国13か国における結核の新規患者報告数と推定罹患患者数の差は、2014年の49%から2018年の33%にまで縮まりました。結核による死者数(HIV陽性者を除く)は、グローバルファンドが設立された2002年以降、25%減少しました。しかし、結核は今でも感染症の中で世界一の死因であり、推定で年間150万人の命を奪っています。また、多剤耐性結核は、健康安全保障において世界的に重大な脅威となっています。



#### マラリア

グローバルファンドは、低・中所得国に対する国際的なマラリア対策支援の56%の資金を供与しています。2016年以降、6か国がWHOのマラリア排除国として認証を受け、他の国々も認証に向けて前進しています。我々はパートナーとの協働により、世界初のマラリアのワクチンのパイロットを支援し、殺虫剤耐性の対策として、新しい殺虫剤で処理された蚊帳を配布しています。マラリアによる死者数は、2002年から46%減少しましたが、近年、感染者数の減少は停滞しています。マラリア対策のための資金支援が停滞し、殺虫剤や薬剤に対する耐性が増加しているため、マラリアの再流行とこれまでの進展の後退が懸念されています。

### 主な成果

- ↑ 2010万人が抗レトロウイルス治療を受けています\*。治療を受けられる人の割合は2015年の48%から2019年には67%へと上昇しました。
- ↓ 抗レトロウイルス治療の価格は、2000年の年間1万米ドルから、2019年の年間66米ドルへと低下しました。
- ↑ HIV陽性の母親のうち71万8000人が、治療によって自身の命を守り、新生児へのHIV感染を予防しました。この割合は2010年の44%から2019年には85%へと上昇しました。

- ↑ 結核患者のうち治療を受けている人の割合は、2010年の48%から2018年の65%に上昇し、その数は570万人\*です。
- ⊗ 12万5000人が多剤耐性結核の治療を受けました。
- ⊗ 結核菌に曝された16万9571人の子どもが予防的治療を受けました。

- ✂ 3億2000万人(主に子供)をマラリアから守るために、1億6000万張の蚊帳\*が配布されました。
- ↓ 蚊帳の価格は、2米ドル未満に、抗マラリア治療の費用は0.58米ドルまで下がりました。その資金の節約により、1400万張の蚊帳が追加購入され、さらに2400万人が治療されました。
- ⊗ 1100万人の妊婦がマラリア予防治療を受けました。

\*グローバルファンドの支援対象国・地域における2019年に達成された成果。

2019年末までにグローバルファンドの投資対象国で達成された成果のさらなる詳細、データの情報源、算出方法は、以下のリンクを参照: <https://www.theglobalfund.org/en/impact>



インドネシアのジャカルタの結核病院に勤めている研究所の検査技師

新型コロナウイルス感染症が拡大する中での、エイズ、結核、マラリアとの闘い

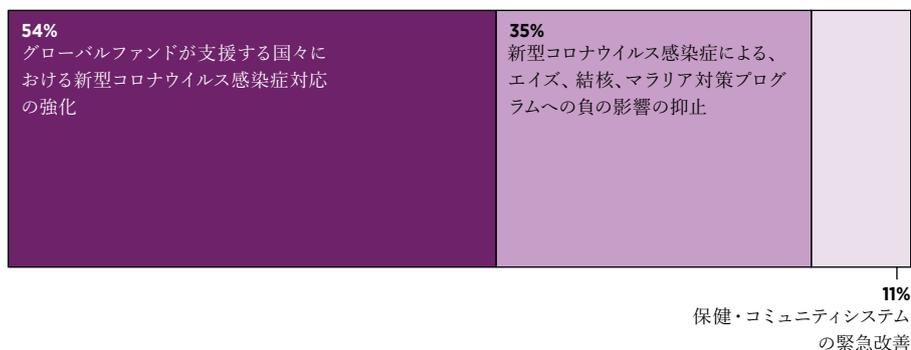
**新型コロナウイルス感染症への対応**

新型コロナウイルス感染症の流行は、エイズ・結核・マラリアとの闘いに壊滅的な影響を及ぼしており、数十年の進展を覆す恐れがあります。ロックダウン、物流の停止、および新型コロナウイルス感染症への資金転用により、最大で75%のエイズ、結核、マラリア対策事業が中断しました。最近の研究によると、新型コロナウイルス感染症による連鎖反応により、三大感染症による死者数は、今後1年間で2倍にも増える可能性があります。

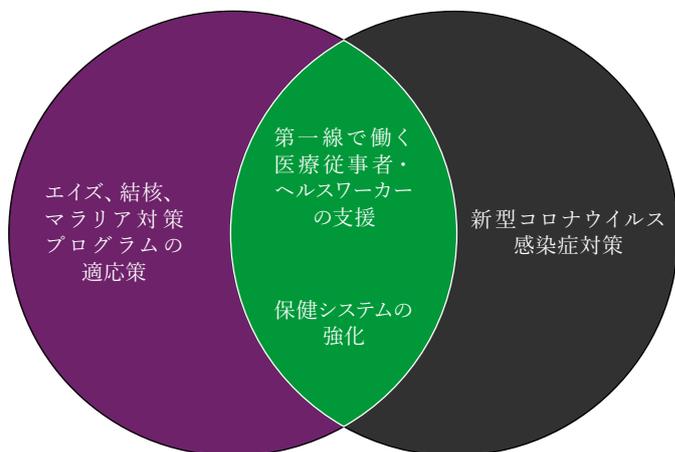
最も貧しく最も脆弱な国々での新型コロナウイルス感染症に対する国際的支援において、グローバルファンドは重要な役割を果たしています。我々は、新型コロナウイルス感染症対策の防護具、診断・検査、治療薬およびワクチン（利用可能になった時点で）の開発と公正な分配に取り組む世界最大の協働の仕組みであるACT Accelerator(ACTアクセラレーター)の発足メンバーです。グローバルファンドは、103か国と11の多国間のプログラムが、新型コロナウイルス感染症に対応し、第一線で働く医療従事者を保護し、医療システムを強化し、さらにエイズ、結核、マラリア関連プログラムに及ぼす負の影響を食い止めるために、7億米ドル以上を支援しました。また、グローバルファンドは、保健システムの強化のために年間10億米ドル以上の無償資金を供与する世界最大の国際機関です。我々が医療従事者、検査施設、サプライチェーンの改善、そして保健情報システム強化を支援することで、多くの低・中所得国の新型コロナウイルス感染症対策を後押ししています。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のための緊急支援予算は底をつく見込みです。

新型コロナウイルス感染症対応メカニズムの資金配分

2020年8月21日現在



新型コロナウイルス感染症の流行に対するグローバルファンドの4つの対策



新型コロナウイルス感染症との闘いを継続し、エイズ、結核、マラリア対策の進展を守るためには、今後12か月間で50億米ドルの資金が緊急に必要です。

「過去10年間に達成した成果のすべてが、2020年に消える可能性があります。これは絶対に避けなければなりません。我々は、団結して闘わなければなりません。」

ピーター・サンズ  
グローバルファンド事務局長

\*グローバルファンドの支援対象国・地域における2019年に達成された成果。

2019年末までにグローバルファンドの投資対象国で達成された成果のさらなる詳細、データの情報源、算出方法は、以下のリンクを参照：<https://www.theglobalfund.org/en/impact>